

洋上アルプス

NO. 9

平成7年12月3日
屋久島森林環境保全センター発行
鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦1577-1
TEL 09974-2-0331 FAX 09974-2-0333

屋久島の森

シンポジウムを開催

六百廿名が参加

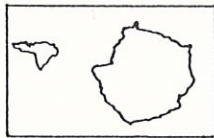
屋久島森林環境保全センター設置記念「屋久島の森シンポジウム」が十一月二日屋久島離島開発総合センターで開催され、米国籍インジャー十五名をはじめ、屋久島高校生、島内外の一般参加者約六百名が参加しました。

このシンポジウムは、保全センターが設置されたことを記念するとともに、屋久島における森林の保全と利活用を内外にアピールするために、保全センターと上屋久町が共催で開いたものです。

また、鹿児島県日米草の根サミット地域交流会に來町していた米国環境庁レインジャーの方々も参加し、国際色豊かなものになりました。

シンポジウムでは、小島自然遺産保全調整官が屋久島森林環境保全センターの概要をスライドで説明したあと、佐藤大七郎東京大学名誉教授が「森・水・人のきずな」、ロッキー山脈地区チーフレインジャーレイノルズ氏とイエローストーン国立公園チーフレインジャーシヨリー氏が「国立公園管理の意義とレインジャーの使命達成の役割について」と題して基調講演を行いました。

屋久島の森シンポジウム
日米草の根交流サミット大会地域交流会



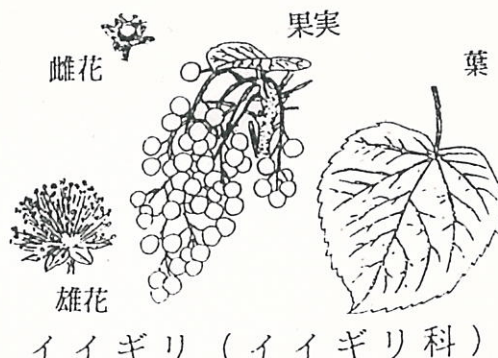
このあと、森林の保全とその利活用についてパネルディスカッションが行われ、高橋鹿兒島経済大学教授をコーディネーターに、三島熊本宮林局森林管理部長、田川鹿兒島大学教授、ムーン・バリー両

シンポジウム前日の十一月一日に來島した米国籍インジャー一行は、午後小島調整官の案内で白谷雲水峽を視察しました。白谷雲水峽の透き通った溪流と奇岩、森林の深い緑という独特の景観に感激し

保護と利用の両立に関心

ていました。特に休養林内の遊歩道が立派に整備され、入林者によって木の根が踏み荒らされるのを防ぎ、森林の保護と利用が両立されていることに関心を示していました。

屋久島の植物



イイギリ (イイギリ科)

落葉高木、幹は通直に伸び樹皮は平滑で灰白色、大きい皮目がある。葉柄は長く、先端に一对、基部に一〜二対の腺体がある。托葉は小さくて早落性、花は五〜六月に咲き雌雄異株に着き、黄緑色、垂下する頂生円すい花序をなす。花弁はなく、がく片は五枚。果実は球形の液果で秋になつて橙赤色に熟し多数の種子を有する。材は軟軽で箱材、下駄材となる。

レインジャー、日吉屋久島産業文化研究所代表の六名がパネリストとしてそれぞれの立場から屋久島の森林保全と利活用の両立の大切さを訴えていました。

ツデーマーチで
国有林をPR

上屋久町主催の、第二回「超自然・屋久島ツデーマーチ」が十一月十八・十九日の両日開催され、全国各地から九百名が参加しました。

この催しは、世界自然遺産登録を記念して昨年からの開催され、二日間かけて自然と親しむながらウォーキングを楽しむものです。コースは、十km、十五km、二十km、四十kmに分けられ、各人の体力に見合った距離に挑戦していましたが、なかには二日間とも四十kmを歩き通した人もいました。

栄転おめでとうございます

- | | | | |
|---------------|---|--|--|
| 十二月一日付
新任地 | 局・共済組合業務係長
小林豊森林活用係長
都城響高野森林官
総務課長
森林活用係長
一奏森林官併任
春牧森林事務所 | 本山和行
真井正
山川祐一
坂橋祐二
加藤雄二
福岡忠行
森俊之 | (旧任地)
(総務課長)
(森林活用係長)
(一奏森林官)
(職員厚生課)
(日向豊森林官)
(宮之浦森林官)
(森林活用係) |
|---------------|---|--|--|



同時に行われた物産展に、屋久島管轄と保全センターが合同で国有林コーナーを設け、土埋木端材、ヤクスギ山引苗、切花等を即売しました。開店前にサカキの切花を買い求める二十名の行列ができたほどの人気ぶりです。国有林のPRが存分にできた一日でした。